

事業報告

講座名	環境学習講座「循環型社会の形成に向けた取組」		
日時	令和8年7月9日（木） 10：20～15：45		
場所	・ 山口県周南総合庁舎 ・ 山口エコテック株式会社 ・ 株式会社トクヤマ 徳山製造所 南陽工場	参加者数	33人 (工場見学32人)

1 概要

循環型社会の形成に向けた山口県の新たな取組や、本県の産業特性を生かした全国に誇れるリサイクルシステムについて学ぶことで資源循環への理解を深めるとともに、家庭や職場・地域における実践行動につなげることを目的とする講座を実施した。

（１）講義「山口県における循環型社会の形成に向けた取組について」

講師：山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課 主査 中田 浩司 氏

山口県が令和8年3月に策定した「山口県循環型社会形成推進基本計画(第5次計画)」に基づき、県が目指す基本方針や目標、県民総参加の取組「3R+(ぷらす)」の推進などについて解説された。

サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行による徹底した資源循環の促進のため、特にプラスチックの資源循環の取組強化を重点に置くことや、従来の3R (Reduce、Reuse、Recycle) に Refuse、Repair、Return などの行動をプラスして、ごみを資源化・減量化していく山口県の今後の目標が理解できた。

講義後の質疑応答では、市町によって取組が違うこと（プラスチックは可燃ごみでよい地域があること、ごみ袋の価格差、中山間と市街地でのごみの扱い方）についての意見や情報を共有した。日頃から環境問題に興味があり、既にごみ分別に取り組んでいる参加者も多かったが、3R+(ぷらす)で自分ができることは何かを再確認する良い機会となった。

（２）本県の産業特性を生かした全国に誇れるリサイクルシステムを工場見学で学ぶ (山口エコテック株式会社・株式会社トクヤマ 徳山製造所南陽工場)

山口エコテック(株)では、山口県内すべてのごみ焼却施設から排出されるごみ焼却灰などを無害化处理し、セメント原料化する事業を2002年4月から開始しており、

今回、その工程を見学した。

搬入される焼却灰に含まれていた金属類などの不燃物も見せてもらったが、これらの異物がごみに混ざっているとセメント原料の品質に影響すると聞かされ、参加者はごみの分別を徹底することの大切さを実感できたと思う。

(株)トクヤマ徳山製造所南陽工場では、山口エコテック(株)でセメント原料化したものをセメントに生まれ変わらせている。今回、セメント製造工程や製造設備などについての説明を受けた。

セメント原料を焼成するロータリーキルンの大きさと高熱を間近で感じたり、セメント原料を予熱するプレヒーターの地上70mの場所から周南市の海や街、稼働するキルンを眺めたりした。工場職員にいろいろ質問する参加者も多く、なかなか体験することのない工場見学に興奮している様子が伝わった。

これら2ヶ所の工場見学を通じて、山口県には自分たちが出す「燃えるごみ」がリサイクルされて循環型社会の形成に役立つ仕組みがあること、そのためには一人ひとりがまず「燃えるごみで出してよいものか、リサイクルに回せるものはないか」を改めて考えることが大事だと再確認した。

<写真>



中田講師の講義



山口エコテック(株)



野村社長による説明



ごみ焼却灰を無害化处理する工程を見学する